

## 人間情報工学コース スタッフ紹介



教授 景山 陽一



教授 水戸部 一孝



教授 有川 正俊



教授 石沢 千佳子



教授 藤原 克哉



准教授 中島 佐和子



講師 白井 光



助教 内海 富博



助教 Lu Min



助教 雲 河晨



助教 伊藤 悠大



助教 佐々木 一織



技術専門員 齋藤 正親



技術職員 佐藤 諒



協力教員  
准教授 横山 洋之



事務室  
事務系スタッフ 佐藤 功子

## 令和7年度 人間情報工学コース 各種役割分担

- ◎コース長 水戸部 一孝
- ◎就職担当(大学院および学部学生) 石沢 千佳子
- ◎学年担任(情報データ科学部)
  - 1年次 有川 正俊、白井 光
  - 2年次 Lu Min
  - 3年次 中島 佐和子
  - 4年次 内海 富博

## 編集後記

Information of 情報 Vol.35はいかがでしたか？今年度から情報データ科学部がスタートし、新1年次は情報データ科学部所属、2年次以上は理工学部所属の学生と混在する形となっています。そのため、本誌は理工学部数理・電気電子情報学科人間情報工学コースの広報誌でありながら、情報データ科学部の学生にとっての広報誌でもあります。スタッフは情報データ科学部にも所属しているため、これまでの教育も受け継がれていきます。ご多忙の中、ご寄稿下さいました皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。(編集担当:内海富博)

# Information of 情報

vol.35  
2025年4月

発行◎秋田大学 理工学部 数理・電気電子情報学科 人間情報工学コース  
Human-Centered Computing Course, Akita Univ.  
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 Tel.018-889-2785 Fax.018-837-0408  
<https://www.ie.akita-u.ac.jp/>

C O N T E N T S

- コース長挨拶 ①
- 教職員から ②
- 学生から ③
- 卒業生から ④
- 2024年度の進路指導について ⑤
- 2024年度進路先一覧 ⑤
- 2024年度人間情報工学コース日誌 ⑥
- 2024年度受賞・表彰 ⑦
- 人間情報工学コーススタッフ紹介 ⑧
- 2025年度人間情報工学コース役割分担 ⑧
- 編集後記 ⑧

## コース長挨拶 ～AI時代における人間情報工学～ 水戸部 一孝

人間情報工学コースでは、“ヒトがヒトを思いやり、優しくできる”情報技術(IT)や人工知能(AI)の利活用を検討し、要素技術を共に研究開発するプロセスを通して、国際社会で活躍できる創造性を兼ね備えた人材の育成を目指しています。

工学分野の技術革新は日々進んでおり、理系の国立大学卒業生は企業からの需要が高く、活躍の機会に恵まれています。しかし、世界情勢は不安定であり、AIの急速な進化が労働市場にも影響を与えています。特に、生成AIの発展によって、これまで安泰とされてきたホワイトカラー職も変化を迫られています。例えば、多言語翻訳AIは、小学生向けの簡単な文章から学術論文まで、適切な表現を使い分けることが可能になっています。さらに、最近公開されたDeep Researchは、膨大な情報を収集・分析し、レポートを自動作成する機能を持っています。これは、まるで専属の翻訳者やアナリストを雇用したかのように、あなたの能力を拡張してくれるものです。でも、世界中の玉石混交のネット情報から学習してしまったために、誤った答えを返すことがあります。AIはあくまでツールであり、その真価を引き出すのは「良質な学習と経験を積んだ人間」です。だからこそ、大学での学びが重要になります。英語やPythonなどの言語、数学による論理的思考、人間情報工学の専門知識を修得することで、AIを適切に活用し、新たな価値を生み出す力を身につけることができます。

2025年度から秋田大学に5番目の新しい学部「情報データ科学部」が誕生します。本学部は、人間情報工学コースを母体とし、ロボティクス、防災、経済の各分野を融合した国内唯一の学部です。入試では文系の学生を積極的に受け入れており、理系と文系の学生が共に学び、共創体験を通じて、人間情報工学のような学際的な学問分野で、分野横断的なイノベーションを生み出す人材を養成することを目指しています。文系が得意とするヒトに対する理解を深めると共に、理系が

得意とする情報技術とデータ科学を修得することは、生成AIが急速に進化するこれからの社会で必要とされる人材になるだろうと私は期待しています。この人材育成の理念は、人間情報工学コースと同じです。

皆さんには、大学の授業や実習を通じて専門性を養うと共に、「自身の経験を基に論理を展開できる独自性」、「新たなデータを生成する技術力」、「ヒトに寄り添い新たな価値を提案できる共創力」を養っていただきたいと考えています。このようなスキルを持つ人は、パターン化された仕事がAIとロボットで代替される社会においても、新たな価値を提案できるトップエンジニアとして活躍できると私は信じています。

では、大学生活の中で、どのようにこれらの力を育むことができるのでしょうか？まず、専門知識と論理的思考力を徹底的に鍛えることが重要です。授業を通じて基礎を学び、演習や実習を通じて実践的な力を養いましょう。同時に、部活動やアルバイトなどを通じて、自分とは異なる考えを持つ多様な人達や社会を知ることも有用です。

これに加えて、近年、理工系学部は、医学部と同様に大学院修士課程がセットになった6年制に限りなく近づいています。学部の4年生以降は研究室での生活が主となりますが、修士の2年間では研究を通じて多様な考え方やイノベーションを可能にする研究開発能力を養うことができます。もちろん、希望の会社に就職することがあなたのGoalならば、学部卒でも十分可能かもしれません。しかし、プログラミングやネット情報の収集・解析、プレゼン資料を作成する仕事は、ChatGPTで代替できてしまいます。社会で活躍し続けるための堅実な投資として大学院に進学し、集中して考えて挑戦する研究活動を通じて、あなたの生涯の武器となる「独創性、技術力、共創力」を獲得し、自身の可能性を上げていただくことを切に願っています。

## 楽しき人生を！

橋本 仁

2025年3月に情報工学科、現在の人間情報工学コースでの20年間の教員生活を終えました。皆さんと一緒に大学で過ごすことはなくなりますが、コースの学生の皆さんに、この稿を書いています。

人間は「考える葦」と言われます。皆さんは最高学府(大学)で学んでいるわけですから、最高水準の知的な考えるレベルにあるわけです。そして最新の情報分野を学んでいます。とても素晴らしいことです。これからの時代を、力強く、柔軟に生き抜いてほしいです。ここでは私が興味を持つ言葉から2つほど紹介しておきます。

ポスト・トゥルース:

「大学」のイメージの1つに「truth and justice」があります。真実と正義を追求する場、ということです。ところで、以前ある大学の卒業式で「ポスト・トゥルース」という言葉を耳にしました。「truth」より上位の概念があるというわけではありません。社会の動きに影響を与えるものとして「truth」より大きなものがありうる、フェイクニュースのSNSによる拡散で偽りの共感を生みだしてしまうようなことです。今まさに「ポスト・トゥルース」の時代になりつつあります。そして間違いなく皆さんが学んでいる情報分野の技術が、「ポスト・トゥルース」的社会的ありように大きな影響を与えていくと思います。このことに十分に心して自分の専門を深めていってほしいです。

進化論2.0:

皆さんは、人間・ヒトという種の最新型です。これまでの連綿たる生命の連鎖の結果です。これはとてもすごいことで、決して当たり前のことではありません。優れているとか劣っているとかないです。「がちゃ」もありません。自分と自分の時間という財産を大切にしましょう。

生命は環境変化に何らかの適応をして進化してきたわけですが、人間は暖かい住まいなど変化を和らげる様々な道具を作り出しました。つまり「進化しないので済むように進化」していこうとする生命体である、と思ったりします。考える葦にふさわしく、情報テック界限で、「intelligenceのある進化」を続けていきましょう。

最後に、「遊びをせんとや生まれけむ」。curiosity を忘れず、楽しみを大事にしましょう。

楽しい日本そして楽しき人生を！

では またの日に

## 新時代における 量から質への転化

雲 河晨

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、在学生の皆さんも、充実した大学生活をお過ごしでしょうか?私は、2024年10月に新学部設置担当(情報データ科学部)の助教として着任しました雲 河晨(ウン カシン)と申します。今年の冬は例年以上に厳しい寒さと大雪に見舞われましたが、皆さんはしっかりと防寒対策をできていましたでしょうか?私自身、秋田に数年住んでおりますが、毎年快適な住環境を作るために、隙間テープや断熱シートを少しずつ追加するなど、試行錯誤を続けています。研究活動もまた、こうした積み重ねの結果であると感じています。

さて、私たちの社会は今、かつてない変革の時代に突入しています。AI技術は、生産業界の流行になっているだけではなく、私たちの日常生活や社会全体の仕組みを根本から変えつつあります。ご存じの通り、ChatGPTは対話型AIとして多くの人々に利用され、その革新的な機能が大きな話題となりました。しかし、最近ではこれにとどまらず、低コストながらも高品質な対話を実現するDeepSeekというAIチャットボットが登場し、さらなる技術の高みへと進化しています。

一般的にAI技術には、大手企業が巨額の資金を投じなければ開発できないというイメージがあります。しかしながら、実際には、中学校レベルの単純で基本的な計算処理の積み重ねによってAIの驚異的な性能が発揮されているのです。もちろん、精巧なシステム設計も必要ですが、無数の単純な演算が組み合わせることで、人間のような論理的思考や「チェーン・オブ・ソート」と称される推論過程を実現し、自然な対話や文章作成が可能となるのです。これは、まさに「量の努力が質の成果へと転化する」現象そのものです。

一方、皆さんが日々授業や研究、実験を通じて新たな知見を積み重ねる姿勢は、AIが膨大な単純計算を重ねることで高度な対話能力を実現するプロセスと共通しています。AIの能力も、決して一瞬にして生まれた天才的な発見ではなく、コツコツとした努力と試行錯誤の成果なのです。

努力とは、単にできる限りのことをこなすだけではなく、目の前の課題をやり遂げた後、自己の能力や認知の枠を超えて探求し続ける勇気を持つことだと、私は信じています。AIチャットボットは、膨大な情報の中から自分にとって有益な知見を短時間で抽出できるようになりましたが、こうして得られた情報をどのように活用し、問題解決や新たな発想へと結びつけるかは、最終的には私たちの能力にかかっています。技術革新は、最新機器や莫大な投資だけで推進できるものではなく、基礎知識の積み重ねと創意工夫、さらには柔軟な発想が不可欠です。日々の基礎研究や実践的なプロジェクトの中に、未来を切り拓くヒントが隠されているのです。情報データ科学部という新たなプラットフォームで、最新のAI技術に触れ、その仕組みを深く理解し、自分自身で新たな価値を創出していくことは、「量から質への転化」を実現する絶好のチャンスといえるでしょう。

学生の皆さんには、失敗を恐れずに常に挑戦し、日々の小さな探求と努力がやがて大きな革新に結実することを実感してほしいと思います。量的な努力が質的な成果へと変わる瞬間を、皆さん自身の手で創り出しましょう。

## 不安の先

2023年4月入学

佐藤 茜

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生の皆さん、大学生活いかがお過ごしでしょうか。高校生や新入生の皆さんは特にこれからの大学生活について期待とともに不安を抱いている方が多いと思います。そこで、私の体験談をこれから紹介させていただきます。

私はプログラミングに興味があったため学部2年生に進学する際、人間情報工学コースを選択しました。しかし当時はこの選択に対して不安もかなり感じていました。私の中で、プログラミングすることは難しいことだというイメージがあったからです。実は、学部1年生の間は情報工学やプログラミングに関する授業は多くありません。学部1年生の内は文理に限らず様々な分野の基礎を学び、教養を深めることが主軸になっているからです。後期になると1週間に1度の頻度でプログラミングの講義がありましたが、私はあまり良い評価を取ることができませんでした。このことが、プログラミングは難しいというイメージを生み出したのです。しかし、実際に進級してみるとその心配は杞憂でした。理解が難しく自分で調べながら学習することも確かにありましたが、初歩的なことから先生たちがしっかりと教えてくださるため少しずつ理解しながら学ぶことができました。また、情報工学では工学系に限らず様々な分野の知識が役に立ちます。学部1年時に得た知識は現在学んでいることと一見無関係なように見えて実際は繋がっており、その繋がりが見つかる学ぶことがさらに楽しくなります。そして、不安な気持ちはいつの間にか楽しさへと変わっていったのです。特に私が楽しかったのは「情報工学実験」という講義で、実際にホームページを作ったりCG制作をしたりと様々な方向性から情報工学の技術を学ぶことができます。苦労の末、納得のいくものを作ることができた時はとても達成感を味わえました。

新入生の方も在校生の方もそれぞれの不安があると思いますが、それでも一歩踏み出してみるとできるかも、楽しいかも、と思えるかもしれません。もちろん全てがうまくいくわけではありません。踏み出した結果、辛い思いをしたこと、またこれから辛い思いをすることも多くあると思います。しかし、その一歩はこれからの人生において踏み出すという選択枝を作り続けてくれるのではないのでしょうか。皆さんそれぞれがやりたいと思ったことを成し遂げられるような、充実した大学生活を送ることができるよう心から願っております。

## 学ぶ意欲

2022年4月入学

戸賀瀬 蓮

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さん、充実した大学生活を送っているのでしょうか。新入生の皆さんはこれからの大学生活に対して、期待とともに不安を抱いている人がほとんどだと思います。また、在学生は他の人がどのような大学生活を送っているのか気になる人もいるでしょう。そこで私の大学生活を紹介します。

1年生の頃は、コロナウイルスの影響が収まってきましたが、まだ対面授業と遠隔授業が混在していました。比率的には半々くらいでした。1日の4分の3が遠隔授業の日でも、電車通学だったため大学に行かなければならない状況が大変でした。また、オンデマンドでの授業もあり、後回しにしてしまうこともありました。結果、授業内容を十分に理解できず学ぶ意欲が低下していきました。このままではダメだと思い、授業でわからないところはチャットやメールの機能を用いて積極的に質問しました。結果1年次を通してわからないことに対してどのように取り組めば良いのか身に付けることができました。

2年生の頃は、コロナウイルスの影響はほとんどなくなり、対面での授業が多くなりました。友達と会う機会も増え、やっと大学生活が始まったなと感じた瞬間でした。授業も専門的な授業が多くなりました。特にプログラミングの授業が一気に増えました。複数の言語を同時に学ぶため、初めのうちはプログラミング環境の構築や言語の違いによるコーディングに慣れるのが大変でした。また、わからない事も多くインターネットで調べたり、友達や先生に相談したりしてプログラムを書きました。苦労はありましたがプログラムが正常に動作した時の達成感が大きく、楽しく学ぶことができたと思います。

3年生になると授業は応用的な内容になりましたが、2年生のころに身に着けた基礎と問題に対する解決法を活かして授業についていくことができました。大学で学ぶだけではなく企業とも連携し、DXのためにプログラミングを行い実践的な経験を積むことができたと思います。

ここまで私の大学生活を紹介しましたが、より良い大学生活を送るためには「自分から行動すること」が重要だと思います。私がこの3年間で多くの事を学べたのも、新しいことを積極的に学びに行き、周囲の人の助けもあったからだと感じています。皆さんが困った時、友人や先生はきっと力になってくれます。皆さんが良い仲間や友人と出会い、楽しく充実した学生生活を送れることを願っています。

## 学生生活の振り返り

橋本研究室 令和7年3月学部卒業  
船木 陽大

大学生活の四年間は本当にあっという間でした。卒業を迎えるにあたり、この4年間を振り返ってみたいと思います。

私は、1・2年生のうちにできるだけ多くの単位を取得し、3年生以降に余裕を持たせようと考え、履修できる限り多くの授業を取りました。そのため、授業数が多く、テスト週間には1日に3教科の試験がありました。特に2年生になると専門科目が難しくなり、もともと日々コツコツと勉強するタイプではなかったため、苦勞することも多かったです。それでも、友人と深夜まで勉強したり、教え合ったりしながら何とか乗り越えることができました。

大変ではありましたが、そのおかげで3・4年生では余裕ができ、研究や就職活動に時間を割くことができました。振り返ると、1・2年生は授業に加え、部活、バイト、自動車学校も並行していたため、意外にも最も忙しい時期でした。しかし、その慌ただしかった日々も今では良い思い出です。

部活動では、高校から始めたバドミントンを続け、バドミントン部に入部しました。部活動を通じて、同じ目標に向かって頑張る仲間がいることの素晴らしさを実感することができました。試合に向けて一緒に練習し、勝ったときは喜び合い、負けたときは励まし合う。そんな時間は、今でもかけがえない思い出です。

また、私は塾講師とホテルの宴会場スタッフのアルバイトを経験しました。全く異なる職種で働いたことで、社会経験を積むことができたうえに、仕事に飽きることなく楽しく続けられました。それぞれのアルバイトを通じて、説明する力、初対面の人と打ち解ける力、そして丁寧な接客をする力が身についたと感じています。

大学生活は毎年「もう1年終わったのか」と驚くほど時間が経つのが早く、気づけば卒業を迎えようとしています。だからこそ、一日一日を大切に過ごし、やりたいことがあればどんどん挑戦していくことが大事だと思います。

コースの仲間、部活の仲間、バイトの仲間、友人に恵まれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。人とのつながりが充実した学生生活を支えてくれたと感じています。皆さんも、ぜひ自分の興味のあることに挑戦し、楽しい大学生活を送ってほしいと思います。

## 「ミューハー心」と「にわか者」

水戸部・藤原研究室 令和7年3月大学院博士前期課程修了  
佐藤 和奈

「ミューハー」軽薄な、また、流行に左右されやすいこと。また、その人や、そのさま。「にわか」スラングとしては「年季が入っておらず造詣も浅い一過性のファン」を指す意味で用いられる。

私は、熱しやすく冷めやすいミューハー心を持ったにわか者です。例えば、サッカーのワールドカップの開催が近づけば、急にJリーグを見たり、eFootballをダウンロードしたりします。6年間の大学生活の中で、私の興味は多種多様に移り変わってきました。

大学の講義で3Dモデリングソフトに触れ、これで動画コンテンツを作って再生数を稼ぎたいと思い、チュートリアルをやりこみました。また、お金持ちになりたいと思い、金融系の本を買い漁って勉強したこともあります。さらに、周りで筋トレが流行ると一緒に筋トレを始めたり、AIの話題が増えると機械学習の勉強を始めたりしたこともあります。このようにいろいろな分野のものをつまみ食いしてきましたが、これらは全て途中で飽きたりしてずっとやり続けることはできませんでした。

しかし、これらの経験や知識がすべて無駄になったことはなく、別のところで活かすことが往々にしてあります。3Dモデリングについては、大学院進学後の研究で3Dプリンターを使用しなければならぬときがあり、その際、造形のための3Dモデリングの知識が活かしました。金融系の勉強をしたときの知識は、就活のときに活かしました。企業研究の際、IR情報を確認するのですが、専門用語や指標が意味することなど金融系の知識があったおかげで、スムーズに読み解くことができました。筋トレでは、ハマっていた時期に得ていた栄養素についての知識が後のダイエットで活かしました。機械学習の知識は、研究室でのMATLABゼミで機械学習の単元をやった際に、理解の助けになりました。

このように、色々なものに手を出してきましたが、私の経験上すべてが無駄になったことはありません。そのため、皆さんにもこれから色々な経験をして、経験や知識を蓄積してほしいと思っています。それらは、すぐに役立ちはないかもしれませんが、それでも1年後や5年後、10年後にきっと役立つ瞬間が来ます。大学生の期間は、「人生の夏休み」とも称されます。それだけの時間や機会が、この期間に詰まっています。皆さんが、この期間に自分の興味の赴くまま、たくさんの挑戦をして、なるべく後悔が残らないように過ごせることを祈っています。

Information of  
**情報**

## 2024年度の進路指導について

進路指導担当 有川 正俊 / 4年次担当 白井 光

昨年度に引き続き、有川は3年間、人間情報工学コースの進路指導担当教員として、学生の大学院進学と就職活動を支援してきました。今年度の学部生の進路は、56%が大学院進学、34%が民間就職、5%が公務員就職、5%がその他(母国への帰国など)でした。

デジタル人材の求人は現在あらゆる業界で強く求められており、就職活動自体はそれほど厳しくないと考えられます。しかし、学部卒業後に就職した場合、下請け的な業務を任せられることが多く、知識や技術の不足から企業内で担える役割が限られてしまう傾向にあります。一方で、大学院で研究力を身につけることで、問題の本質を見抜き、制約のある環境の中で解決策を構築し、ITサービスやソフトウェアの開発を通じて実践的な解決策を創出し、それらを学術論文として体系化する能力を習得できます。こうした能力は、企業での実務経験だけでは身につけにくく、大学院修了者にはプロジェクトの企画や新規開発を担うことが期待されます。また、研究力のある人材は待遇面でも優遇される傾向があり、学部卒と大学院卒では生涯年収に約5,000万円の差が生じるともいわれています。

そのため、学部卒業後すぐに就職するのではなく、2年間大学院で研究力を高めた上で社会に出ることを推奨します。現在、わが国では研究力のある人材が不足しており、これは日本国にとって深刻な危機となっています。特に、技術革新や国際競争力が激化する中で、研究力の低下は産業の発展や国全体の競争力に重大な影響を及ぼしかねません。国立大学は、こうした状況を打開するため、研究力を備えた人材の育成が使

命となっています。秋田大学もまた、研究力を持つ人材の育成に注力し、学部・大学院一貫の6年間教育を推進しています。

デジタル人材の就職は今年度も好調で、人間情報工学コースの修了生・卒業生は、7月末までに約90%が進路を決定し、8月末にはほぼ全員が内定を得ました。この傾向は今後も数年続くと考えられます。今年の学部卒の就職者の約45%が秋田県内に就職しており、地元志向が強まっています。秋田県のような地方においても、デジタル人材が活躍できる場が増えていると考えられます。

内閣府が定める就活ルールでは、業界説明会の開始時期は3月とされており、企業の採用活動も一般的にはその時期から始まります。しかし、このルールを無視し、12月頃から採用活動を行う企業もあります。特に、労働条件の悪い派遣企業にそのようなケースが多く見られます。近年、未熟な学生が手軽に利用できる就職エージェントを介して、そうした就活ルールを無視した企業とマッチングされるケースが増えています。その結果、学生は早期に内々定を得るものの、後になって労働条件の不利さに気づき、半年もの時間を無駄にした上で、再び就職活動を始めるケースも少なくありません。また、「オワハラ」(内定後に他社の就職活動を中止させる圧力)を受けた学生もおり、これは職業選択の自由を侵害する行為であり、許されるものではありません。就職は焦らず慎重に決めることが大切です。短期的な判断にとらわれず、自身のキャリアをしっかりと考えてほしいと思います。秋田大学の修了生・卒業生が、自身にふさわしい環境で、さまざまな分野でご活躍されることを願っています。

表1 人間情報工学コース大学院生・学部生の進路状況(人数)

	大学院進学	一般企業	公務員	その他	未定	合計
大学院2年次	0	23	0	0	1	24
学部4年次	23	14	2	2	0	41

## 令和6年度卒業生 修了生進路先一覧

### ◆大学院博士前期課程修了生(24名) (先進ヘルスケア工学院・人間情報系も含む)

[就職](23名)  
NTT東日本、NTTデータ先端技術株式会社、株式会社日立製作所、株式会社日立ソリューションズ、日立造船株式会社、セイコーエプソン株式会社、秋田魁新報社、エイデイケイ富士システム株式会社、DOWAホールディングス株式会社、TDK株式会社、マイクロメモリアパン、エフサステクノロジーズ株式会社、株式会社アイシン、株式会社ジェイテクト、株式会社ジェイテクトIT開発センター秋田、株式会社光波、株式会社荏原製作所、ジョンソンコントロールズ株式会社、アイ・システム株式会社、日本光電工業株式会社

[公務員希望](1名)

### ◆学部卒業生(41名)

[進学](23名)  
秋田大学大学院博士前期課程(22名)、東京大学大学院(1名)  
[就職](14名)  
アイリスオーヤマ株式会社、TDK株式会社、エイデイケイ富士システム株式会社、リコーITソリューションズ株式会社、SCSKニアショアシステムズ株式会社、北日本コンピューターサービス株式会社、渡敬情報システム株式会社、株式会社サイバーリンクス、株式会社あとらす二十一、株式会社 CLIS、フジケン株式会社、NRIネットコム株式会社、株式会社タムラ製作所、株式会社ラキール  
[公務員](2名)  
秋田県庁、栃木県庁  
[帰国](1名)  
[専門学校進学希望](1名)

# 令和6年度 人間情報工学コース日誌

2024  
令和6年

- 4月 4日 在学生ガイダンス
- 4月 4日 2年次留年生個人面談(担当:水戸部一孝教授、藤原克哉教授、橋本仁准教授、内海富博助教)
- 4月 5日 入学式
- 4月 8日 学部新入生・大学院新入生ガイダンス
- 4月 9日 授業開始
- 4月 11日 2年次留年生個人面談(担当:石沢千佳子教授、橋本仁准教授、内海富博助教)
- 4月 15日 3年次個人面談1回目(4月26日まで、担当:石沢千佳子教授、内海富博助教)
- 4月 17日 4年次個人面談1回目(4月22日まで、担当:有川正俊教授、白井光講師)
- 4月 19日 2年次個人面談1回目(4月26日まで、担当:石沢千佳子教授、橋本仁准教授)
- 5月 16日 大学院博士前期課程個人面談1回目(5月20日まで、担当:水戸部一孝教授、景山陽一教授)
- 5月 27日 大学院博士後期課程個人面談1回目(5月29日まで、担当:水戸部一孝教授、景山陽一教授)
- 5月 30日 2023年度秋田RPA協会活動報告会講演(担当:景山陽一教授)
- 6月 5日 修士論文予備審査(9月修了)
- 6月 17日 キャンパススクリーンデー
- 6月 17日 理工学部編入学試験(一般)
- 6月 18日 秋田市立御所野学院高等学校入試説明会(担当:景山陽一教授)
- 6月 26日 インド工科大学インターンシップ(担当:景山・石沢研究室)
- 7月 1日 大学院理工学研究科博士前期課程入試(推薦)
- 7月 2日 秋田県立西目高等学校出前講義(担当:水戸部一孝教授)
- 7月 4日 秋田県立秋田工業高等学校入試説明会(担当:藤原克哉教授)
- 7月 5日 秋田県立角館高等学校出前講義(担当:藤原克哉教授)
- 7月 8日 超スマート社会におけるキャリアデザイン(1回目)(担当:石沢千佳子教授、世話役:内海富博助教)
- 7月 12日 秋田県立本荘高等学校入試説明会(担当:水戸部一孝教授)
- 7月 13日 高大連携授業(担当:景山陽一教授、有川正俊教授、水戸部一孝教授、石沢千佳子教授)
- 7月 18日 北海道帯広柏葉高等学校模擬講義・進学説明会(担当:水戸部一孝教授)
- 7月 20日 通信教育講座学内スクーリング(担当:有川研究室)
- 7月 22日 キャンパススクリーンデー(担当:水戸部・藤原研究室)
- 7月 22日 秋田県立大館鳳鳴高等学校入試説明会(担当:有川正俊教授)
- 7月 23日 愛知県立安城東高等学校入試説明会(ZOOM、担当:石沢千佳子教授)
- 7月 27日 オープンキャンパス
- 7月 27日 後援会役員との懇談会(担当:水戸部一孝教授)
- 8月 6日 秋田県立能代科学技術高校入試説明会(担当:藤原克哉教授)
- 8月 8日 秋田理系プロジェクト(担当:水戸部・藤原研究室)
- 8月 9日 デジタル技術・サマーキャンプ(秋田大学)(担当:景山陽一教授、石沢千佳子教授、白井光講師、伊藤悠大技術職員)

- 8月 28日 大学院博士前期課程入試(一般、私費外国人留学生)(8月29日まで)
- 9月 7日 デジタル技術・オータムキャンプ(県北)(担当:景山陽一教授、石沢千佳子教授、白井光講師、伊藤悠大技術職員)
- 9月 12日 岩手県立黒沢尻北高等学校模擬授業(担当:水戸部一孝教授)
- 9月 24日 編入学試験一般入試2次試験
- 9月 26日 秋田県立秋田北高等学校1年生サイエンス・ラボ(担当:水戸部・藤原研究室)
- 9月 28日 デジタル技術・オータムキャンプ(県南)(担当:景山陽一教授、石沢千佳子教授、白井光講師、伊藤悠大技術職員)
- 10月 12日 情報データ科学部総合型選抜I入試
- 10月 15日 大学講座DXコース(担当:景山陽一教授)
- 10月15-17日 キャンパススクリーンデー(担当:景山・石沢研究室)
- 10月 19日 大学祭
- 10月 22日 大学講座DXコース(担当:水戸部一孝教授、有川正俊教授)
- 10月 26日 高大連携授業情報データ科学の世界II(担当:藤原克哉教授)
- 10月 26日 夢ナビライブ(担当:水戸部一孝教授)
- 10月 28日 情報処理学会東北支部講演会(超スマート社会におけるキャリアデザイン(第2回))、サステナブルな社会につながるソフトウェア技術とDX、講演者:株式会社日立ソリューションズ・テクノロジー 経営企画本部 経営企画部 田口聡樹氏
- 10月 28日 4年次個人面談2回目(11月8日まで、担当:有川正俊教授、白井光講師)
- 10月 31日 3年次個人面談2回目(11月8日まで、担当:石沢千佳子教授、内海富博助教)
- 11月 7日 先進ヘルスケア工学院2年次個人面談(担当:景山陽一教授)
- 11月 8日 北海道帯広柏葉高等学校1年生進路講演会(担当:水戸部一孝教授)
- 11月 14日 秋田県立能代松陽高校研究室訪問(担当:藤原克哉教授)
- 11月 15日 2年次個人面談2回目(11月29日まで、担当:石沢千佳子教授、橋本仁准教授)
- 11月 15日 キャンパススクリーンデー(担当:有川研究室、橋本研究室)
- 11月 15日 先進ヘルスケア工学院1年次個人面談(担当:景山陽一教授)
- 11月 16日 由利本荘市第18回科学フェスティバル出展(担当:景山・石沢研究室)
- 11月 20日 大学院1年次個人面談2回目(11月27日まで、担当:水戸部一孝教授、景山陽一教授)
- 11月 20日 大学院2年次個人面談2回目(11月22日まで、担当:水戸部一孝教授、景山陽一教授)
- 11月 26日 令和6年度大学院博士前期課程修士論文中間審査(中間発表会)(11月27日まで)
- 11月 26日 情報処理学会東北支部研究会(11月27日まで)
- 11月 28日 理工学デザイン
- 12月 2日 情報処理学会東北支部講演会(超スマート社会におけるキャリアデザイン(第3回))、ZOOM、デジタルツイン、メタバースを実現する日本発!VRCGソフトウェア活用事例、株式会社フォーラムエイト執行役員 松田 克巳氏
- 12月 5日 秋田県立能代高等学校出前講義(担当:水戸部一孝教授)
- 12月 6日 青森県立弘前高等学校出前講義(担当:景山陽一教授)
- 12月 10日 理工学部数理・電気電子情報学科1年次個人面談(12月12日まで、担当:水戸部一孝教授)
- 12月 14日 超スマート社会におけるキャリアデザイン(第4回)プログラミングハッカソン、協力:444株式会社

- 12月 16日 就職活動・進路選択に関する体験報告会(超スマート社会におけるキャリアデザイン(第5回))、講演者:理工学部数理・電気電子情報学科人間情報工学コース4年次川村龍斗氏、武藤大道氏、大学院理工学研究科数理・電気電子情報学専攻人間情報工学コース博士前期課程2年次田巻凜氏、下迫響氏
- 12月 17日 博士後期課程個人面談(12月20日まで、担当:水戸部一孝教授、景山陽一教授)
- 12月 18日 大学院博士後期課程/前期課程 第2次試験
- 12月 18日 先進ヘルスケア工学院・産学連携推進機構共催のイブニングサロン(担当:藤原克哉教授、景山陽一教授)
- 12月 19日 大学院博士前期課程外国人留学生特別入試2次募集
- 12月 25日 秋田県立湯沢高等学校出前講義(担当:景山陽一教授)

2025  
令和7年

- 1月 10日 本荘高校 サイエンスラボ(担当:有川研究室)
- 1月 18日 大学入学共通テスト(1月19日まで)
- 1月 23日 進路に関する講演会「卒業生による進路に関する講演会」(超スマート社会におけるキャリアデ

- 1月 23日 ザイン(第6回))、講演者:トヨタ自動車東日本株式会社 永石明日斗氏、日本ライフライン株式会社 加藤裕太氏、スズキ株式会社 松井解氏
- 1月 23日 進路に関する講演会「マイナビセミナー」(担当:石沢千佳子教授)(超スマート社会におけるキャリアデザイン(第7回))
- 1月 24日 情報データ科学部 総合型選抜II入試、私費外国人留学生入試
- 2月 3日 令和6年度卒業課題研究発表会(2月6日まで)
- 2月 4日 令和6年度修士論文発表会
- 2月 7日 リクルートによる「インターンシップセミナー」(担当:石沢千佳子教授)
- 2月 7日 博士論文審査会・公聴会(2月13日まで)
- 2月 12日 3年次個人面談3回目(2月20日まで、担当:石沢千佳子教授、内海富博助教)
- 2月 25日 一般選抜前期日程
- 3月 10日 秋田県立横手清陵学院高等学校出前講義(担当:藤原克哉教授)
- 3月 12日 一般選抜後期日程
- 3月 13日 コース主催講演会(東京大学 小山博史先生、世話役:中島佐和子講師)
- 3月 18日 秋田県立大曲高等学校出前講義(担当:景山陽一教授)
- 3月 22日 秋田大学卒業式

## 受賞・表彰

### 学会賞受賞

- 令和 6年 9月 VRIP 2024 Best Presentation Award  
黒崎 蓮(博士前期課程1年、有川研究室)
- 令和 6年 9月 ICISIP 2024 Best Presentation Award  
劉 亜儒(博士後期課程3年、景山・石沢研究室)
- 令和 6年 9月 産業応用工学学会全国大会2024学生賞  
三浦 翔流(博士前期課程2年、景山・石沢研究室)
- 令和 6年12月 AsiaCarto 2024  
Best Student Presentation Award  
佐々木 一織(博士後期課程3年、有川研究室)
- 令和 6年12月 ICA Scholarship  
チャン クアン サン(学部4年、有川研究室)
- 令和 6年12月 IEEE Sendai WIE Awards  
宮古 菜々(博士前期課程1年、景山・石沢研究室)
- 令和 6年12月 IEEE Sendai Section Student Awards  
チャン クアン サン(学部4年、有川研究室)
- 令和 7年 3月 令和6年度日本知能情報ファジィ学会東北支部研究会奨励賞  
津留 威吹(学部4年、景山・石沢研究室)
- 令和 7年 3月 情報処理学会東北支部奨励賞  
児玉 楓太(博士前期課程2年、景山・石沢研究室)
- 令和 7年 3月 田邊 里和(博士前期課程2年、景山・石沢研究室)
- 令和 7年 3月 情報処理学会第87回全国大会学生奨励賞  
鎌田 颯(博士前期課程1年、景山・石沢研究室)
- 令和 7年 3月 須藤 悠介(博士前期課程1年、景山・石沢研究室)

### 成績優秀表彰

- 令和 6年10月 令和5年度秋田大学学生表彰(学業奨励金)  
佐野 広空(学部3年)
- 令和 7年 3月 令和6年度北光会賞  
綱川 凌太(学部4年、有川研究室)
- 令和 7年 3月 令和6年度情報処理学会東北支部奨励賞  
チャン クアン サン(学部4年、有川研究室)

### 人間情報工学コース プログラミングハッカソン

- 令和 6年12月 最優秀賞(第1位):田中 大翔  
優秀賞(第2位):和泉 瑞亮  
優秀賞(第3位):及川 叶

### コンテスト・プログラム受賞

- 令和 7年 1月 秋田イノベーション・プログラムASHIOTO-足音- 優秀賞  
チーム「ARTimeWalk」  
黒崎 蓮(博士前期課程1年、有川研究室)
- 谷本 健太(学部4年、有川研究室)
- 藤原 稜大(令和5年度博士前期課程修了生、有川研究室)

※受賞時の学年・所属